

# 地球環境との共存共栄

琵琶湖は、京阪神1,450万人の貴重な水源で、多様ないきものの「命のゆりかご」でもあります。その琵琶湖の姿が、近年大きく変化しています。身近な問題として水質の悪化や、水草の異常繁茂、外来魚の増加は、どれも私たちの生活環境の変化と結びついて起こっています。

琵琶湖のさまざまな現象は、世界の環境問題の象徴であり、「地球環境の縮図」です。当行は、琵琶湖畔に本拠を置く企業の社会的使命として、地球温暖化防止や生物多様性の保全、更には持続可能な社会の実現に努めています。

## 環境経営

当行は、経営に環境を取り込んだ「環境経営」のもと、省資源・省エネルギー活動に努める「エコオフィスづくり」、本業を通じた環境保全への取り組みとして金融に環境を組み込んだ「環境金融」ならびに「環境ボランティア」活動を展開しています。

役職員と  
歩みを共に

エコ  
オフィス  
づくり

お客さまと  
歩みを共に

環境金融

地域社会と  
歩みを共に

環境  
ボランティア



## エコ・ファースト企業に認定

当行は、2008年7月に「エコ・ファーストの約束」を環境大臣へ提出し、金融業界初の「エコ・ファースト企業」の認定を受けました。金融の役割を通じて持続可能な社会づくりに貢献するとの使命を持ち、環境に配慮したお金の流れの拡大に向けて、お客さま・地域の皆さま・役職員とともに環境保全に努めています。



### エコ・ファーストの約束



- 1 “お金の流れで地球環境を守る”との気概で、環境対応型金融商品・サービスを積極的に推進します。
- 2 「クリーンバンクしがぎん」を合言葉に、省資源・省エネルギーの「エコオフィスづくり」を推進します。
- 3 生物多様性の保全を実現する社会づくりを推進します。



トピックス

### 環境省との 勉強会

2013年2月28日(木)、環境省とエコ・ファースト企業との勉強会において、当行の「環境金融」「生物多様性保全」の取り組みについて報告を行いました。

報告後は、環境事務次官をはじめ、環境省職員の方と活発な意見交換を行いました。